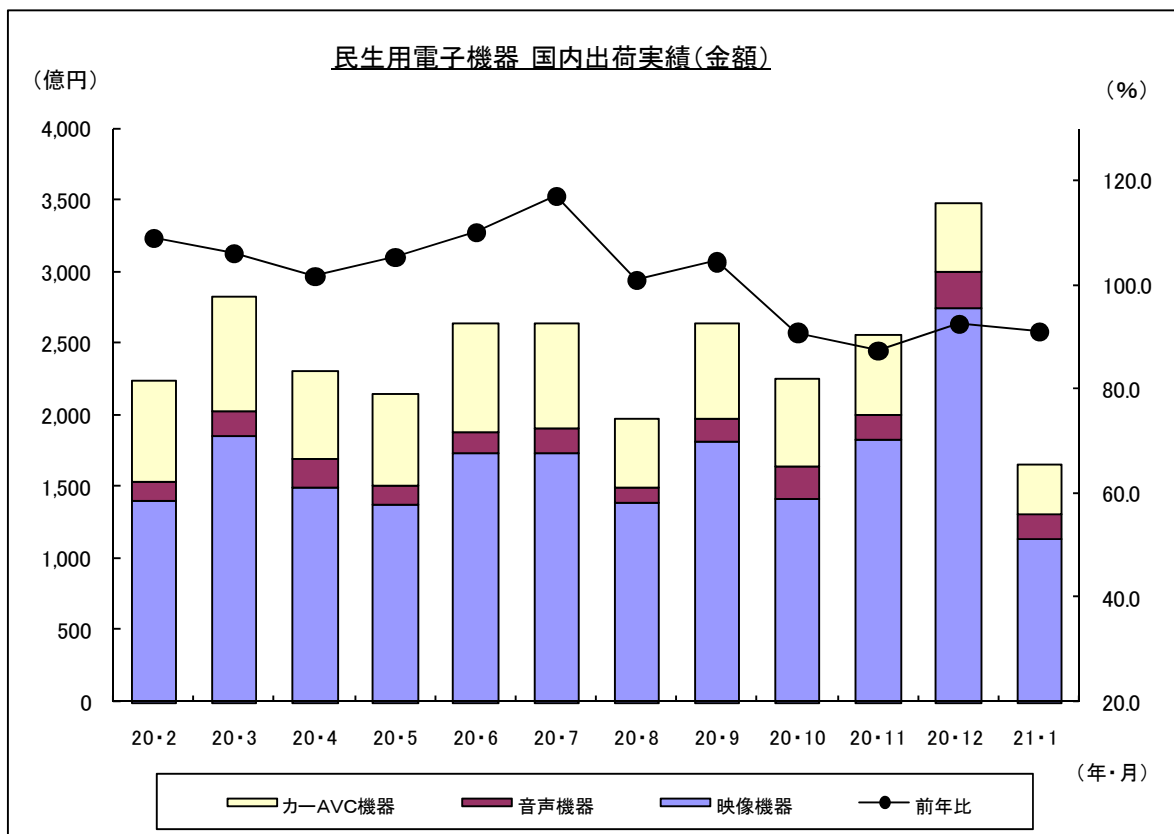


JEITA

全 体 の 動 向



単位：億円、下段斜体字は前年同月比（％）

	20・2	20・3	20・4	20・5	20・6	20・7	20・8	20・9	20・10	20・11	20・12	21・1
映像機器	1,413	1,865	1,509	1,385	1,745	1,739	1,401	1,821	1,425	1,834	2,751	1,147
	<i>108.8</i>	<i>108.9</i>	<i>101.3</i>	<i>107.0</i>	<i>112.2</i>	<i>119.4</i>	<i>106.3</i>	<i>108.2</i>	<i>91.3</i>	<i>92.3</i>	<i>96.7</i>	<i>107.3</i>
音声機器	135	177	198	138	146	179	109	167	223	172	262	175
	<i>103.1</i>	<i>96.4</i>	<i>98.2</i>	<i>93.8</i>	<i>104.6</i>	<i>120.4</i>	<i>99.5</i>	<i>85.8</i>	<i>94.1</i>	<i>82.1</i>	<i>92.3</i>	<i>88.6</i>
カーAVC 機器	700	795	614	633	757	728	470	659	611	567	475	346
	<i>110.5</i>	<i>101.7</i>	<i>104.2</i>	<i>104.4</i>	<i>106.6</i>	<i>111.3</i>	<i>88.0</i>	<i>100.4</i>	<i>88.7</i>	<i>75.7</i>	<i>74.1</i>	<i>61.4</i>
計	2,248	2,837	2,321	2,155	2,648	2,646	1,980	2,647	2,259	2,573	3,488	1,668
	<i>109.0</i>	<i>106.0</i>	<i>101.7</i>	<i>105.3</i>	<i>110.1</i>	<i>117.1</i>	<i>100.9</i>	<i>104.5</i>	<i>90.8</i>	<i>87.4</i>	<i>92.5</i>	<i>91.1</i>

1月の概況

民生用電子機器の1月出荷金額は、1,668億円、前年比91.1%と4ヶ月連続のマイナスとなった。

分野別に見ると、映像機器国内出荷金額は、1,147億円、前年比107.3%と4ヶ月振りのプラスとなった。

音声機器国内出荷金額は、175億円、前年比前年比88.6%と6ヶ月連続のマイナスとなった。

カーAVC 機器国内出荷金額は、346億円、前年比61.4%と4ヶ月連続のマイナスとなった。

JEITA

- 1月のカラーテレビ全体計(CRT+10型以上液晶+PDP)は640千台、前年比は124.7%となり、3ヶ月ぶりの2桁伸長となった。1月の構成比(台数ベース)は、10型以上液晶が9割を超え91.3%、PDPが7.7%、CRTは1.0%となった。
- 10型以上液晶カラーテレビは584千台、前年比は130.7%となり、3割増と好調に推移した。うち、99%を占める16:9が577千台、同135.7%、37型以上は164千台、同141.2%と高い伸びを示した。
- PDPは49千台、前年比110.7%の1割増となった。43型以下がPDP全体数量の8割以上を占めている。

- 1月のDVDビデオは、284千台、前年比55.5%と、10ヵ月連続の前年割れとなった。その内訳は、DVD録再機が96千台、同41.1%、DVD再生機は139千台、同73.3%となっており、録再機が大きく落ち込んだ。
- 次世代光ディスクレコーダ/プレーヤは142千台、前年比403.2%と引き続き好調に推移しており、DVDビデオと次世代光ディスクを合わせた光ディスク市場の、数量で38%を占める規模となった。また、今月も12月に続き、次世代光ディスクレコーダの出荷台数が、DVDレコーダの台数を大きく上回った。
- ビデオ一体型カメラは74千台、前年比99.9%と、ほぼ前年並みとなった。全体の66%を占めるハイビジョン対応機種は好調であったが、ハイビジョン非対応機種は縮小傾向が続いている。

- ステレオセットは53千台、前年比96.7%と22ヶ月連続の前年割れとなった。
- デジタルオーディオプレーヤは703千台、前年比104.1%と2ヶ月連続してプラスとなった。うちフラッシュメモリを使用するタイプは94%の662千台であった。
- HiFiスピーカシステムは35千台、前年比116.7%と、27ヶ月連続で前年プラス、23ヶ月連続の2桁成長と、依然好調を維持している。

- カーオーディオは、カーステレオ本体(カセット)が、15千台、前年比39.8%、カーCDプレーヤが294千台、前年比55.7%と大幅なマイナスであった。カーステレオとカーCDプレーヤの合計は309千台、前年比54.7%であった。
- カーカラーテレビは47千台、前年比50.2%と6ヶ月連続のマイナスとなった。カーDVDは11千台、同40.5%と4ヶ月連続のマイナスになっている。
- カーナビゲーションシステムは208千台、前年比68.8%と4ヶ月連続のマイナスであった。1月のソース別構成比は、CD/DVD-ROMタイプが15.6%、HDDタイプ(その他)が84.4%であった。
- ETC車載ユニットは330千台、前年比120.8%のプラスとなった。